

# 令和5年(2023年)度 自己評価報告書

2024年3月31日

東星学園幼稚園

## 1. 本園の教育目標

キリストの愛の精神 人間の価値とその使命を尊ぶ  
自立した子どもを育てる

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・子どもの「やりたい」を引き出せるよう環境構成を工夫する
- ・子どもの「やりたい」を実現するきめ細かな援助や、環境設定を行う
- ・同年齢の関わりと共に異年齢の子ども同士の関わりの場を大切にし、思いやりの心を育む
- ・幼稚園と保護者が協力して、子ども達を育てる雰囲気づくりを行う

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	職員の連携 言葉にして伝える	B	お互いの意識が高まり、業務の分担や進捗状況などを言葉や文書にして共有して進めることができた。日々のチーム保育については、思い込みで動いてしまうことがあり、進行途中に軌道修正することもあった。
2	プロジェクトの発信と見える化	B	年長は活動の話し合いを活発に行った。その経過を紙に書いて掲示して年中、年少とも共有し、発達段階ごとの特徴を生かして連携して活動することができた。掲示した紙以外の方法でも共有できるとさらに柔軟な発想で連携して進めることができたのではないかな。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	子どもの「やりたい」を形にして日々の生活を子ども達自身が作り上げて過ごしてきた。年齢の枠を超えて、それぞれの持ち味を生かして行事を仕上げた。職員同士は、経験を生かしてそれぞれが積極的に取り組んだ。経験に囚われて確認が不十分になった部分もあり、言葉にして確認し合うことは引き続き意識していく必要がある。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	職員の連携	毎日無理なく確実に情報を共有し、互いの動きを意識して動く
2	保護者との連携	保育の見える化をさらに意識して、保護者の保育理解を深め、共に子育てする
3	園内整理	充実した保育活動と並行して、閉園の準備を滞りなく進める